

別添6. 企業とNGOの協働事例の採点表

●各選定項目の説明

① 協働実績数: 過去3年間に活発にNGOと協働で事業・活動を行ったかどうか

近年3年間でNGOとの協働、あるいは案件数が11件以上である	5
近年3年間でNGOとの協働、あるいは案件数が5-10件である	4
近年3年間でNGOとの協働、あるいは案件数が4-5件である	3
近年3年間でNGOとの協働、あるいは案件数が2-3件である	2
近年3年間でNGOとの協働、あるいは案件数が1件である	1

② 協働事業の内容: 企業とNGOがどの程度本格的に協働を行っているか

社員がNGOと企画から運営までを行って活動している	5
CSR活動などをNGOに業務委託している	3
特にNGOの活動内容を指定せず、物品、あるいは金銭を提供しているのみ	1

③ 独創性: NGOと協働している取組内容の独創性が高いかどうか

他の事例に見られない、非常に独創性が高い活動がある	5
	3
植林や寄付金など、一般的な活動である	1

④ 持続性: 活動が長く続いている

活動が10年以上継続している	5
活動の継続期間が6-9年である	4
活動の継続期間が4-5年である	3
活動の継続期間が2-3年である	2
活動の継続期間が1年以下である	1

⑤ 効率性: 企業の本業に近い活動を行っている、企業のイメージアップが高く、費用対効果が高いなど、効率性が良いかどうか

企業の本業を生かした活動を行っている、企業のイメージアップなどで費用対効果が高い活動を行っている	5
	3
企業の本業とは無関係な活動を行っている。企業のイメージアップにつなげていない	1